

**\*\*\*\* 近畿大会予選 男子初戦敗退 \*\*\*\***

2013.6.2（日）、明星高校にて男子の近畿大会予選が行われました。

結果は、残念ながら初戦で敗退しました。

対戦成績は以下の通りです。

第1セット

天王寺 11-25 関西福祉大学金光藤蔭

第2セット

天王寺 14-25 関西福祉大学金光藤蔭

※関西福祉大学金光藤蔭は 6/9 の 2 回戦に進出

天王寺はキャプテン辻岡君（3年）が、5月初旬にやっと怪我から復帰し3週間程度の練習で間に合わせてくれました。関西福祉大学金光藤蔭はこの春の部別で2部に降格してきたチーム。戦前の予想では互角の展開になるのではと思っていましたが、かなり手ごわい相手でした。

天王寺としては、エース山田君（2年）が鋭いスパイクを決めていましたし、センターからは佐々木君（2年）が軽快なクイックを決め、木林君（2年）も相手スパイクを強烈なブロックで、シャットアウトするという場面もありました。

ただし、相手はブロックがしっかりと2枚ついてきていましたし、エース対角の辻岡君、セッターの酒井君（3年）、本田君（3年）も本来の攻撃がもう一つ決まらなかったという感があります。

相手の速い攻撃にレシーブもあきらめず、松田君（3年）も良く繋いでいましたが、基本的には攻撃力に勝る相手ペースでずるずると進められたという感じです。

ムードメーカーの辻岡君が戻り、チームとしても元氣よく声も出て本来の形では臨めましたし、今日は譲り合いなどつまらないミスも少なかったです。

- ・エンジンの掛りが遅い
- ・負傷明けのキャプテン辻岡君がどうしても本来のプレーができず、気持の上でチームをけん引するまでの余裕を持てなかった。

なども敗れた一因とは思いますが、結局、平均点70点のチームが90点のチームとの対戦に敗れたということでしょうか。

天高は、中学でのバレー経験者が少なく、高校からバレーボールを始める者も多い。

運動センスのある者が多く平均点70点までには来るのですが...

試合後、ほとんどの選手たちが悔し泣きでしばらく声も掛けられない状態でした。

今日も、野川君（64期）、清水君（65期）含め、多くのOB、そして生徒の父兄も応援

に駆け付けてくれました。

試合後の総評で駒井先生が「66期は皆に愛されたチームだった」と生徒の成長を語って感極ってしまったのが印象的でした。

今年は新たに13名の1年生が加わりました。経験者は1名ですが、背の高い者も多く、期待出来そうです。

また、山田君、佐々木君（次期キャプテン）、木林君など多くの2年生がレギュラーに残っています。楽しみ（近畿大会出場）は先に繋がったと信じます。何とか20点の壁を乗り越えて更なる高みを目指してほしいです。

3年生の皆さん、本当に御疲れ様でした。

顧問の駒井先生、美濃出コーチ、OB、父兄の方々も本当に御疲れ様でした。



これからも新チームの応援よろしくお願いします。